

平成 27 年度第 4 回北区地域支援連絡会議 北区地域福祉推進会議へ向けたご意見

障がい者・児の支援がなく、当事者交流の場がない

北区は障がい者や児童に対してサービスが手厚いと聞いて転入した。学校等のハード面は整備されているが、例えば、保護者会などの当事者が交流できる場すらなかった。行政主導で場の提供をしてほしい。

医療と福祉の“つなぎ”が弱い

認知症に対しては、サポート医から専門医へのつながりが確立できている。一方、福祉課題の中で、児童や精神科の分野で医療機関へ受診しない方が多く、なかなか医療につながれないため問題が解決しにくい状況である。小児科や、神経科の分野にもサポート医が存在してくれたらいいと思う。

地域の組織づくりの課題

地域では、どんな困りごとでも協力しようと相談体制を整えてきた。特に認知症に関しての相談は 24 時間 365 日間わず舞い込んでくる。地域はボランティアで活動しているため全てを受け止めきれない。地域の組織づくりと、支援先のチャンネルを多く持つことが課題である。

また、地域では、新たなマンション建設等が進んでおり、町会加入率は年々低くなりつつある。また、平成 29 年度の介護保険法見直しによる新たな総合事業では、地域の発見力や互助・共助の必要性がある。